

令和7年度各町春の防災訓練結果（訓練実施結果報告書を基にまとめました）					
自治会名	実施日	参加人数	訓練内容	黄色いフェルト ト実施結果	実施状況の写真
貝家町	5月24日	自治会37名 消防分団5名 合計42名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練	—	
小古曽町	5月25日	自治会82名 消防分団8名 市民センター3名 その他5名 合計98名	・初期消火訓練 ・避難所運営訓練 ・地震体験車による体験実習 ・炊き出し訓練	—	
高塚町	6月1日	自治会860名	・黄色いフェルト安否確認訓練	—	
泉町	6月1日	自治会 37名	・災害対策本部運用訓練 ・避難、誘導訓練 ・黄色いフェルト安否確認訓練	52/92	
中堀町	6月1日	自治会40名 消防分団4名 合計44名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・避難行動要支援者対策訓練	—	
采女が丘	6月8日	自治会19名 消防分団5名 合計24名	・初期消火 ・応急手当訓練	—	
采女町西部	6月8日	自治会130名 消防分団5名 合計135名	・初期消火 ・応急手当訓練	64/168	
采女町中部	6月8日	自治会50名 消防分団5名 合計55名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・黄色いフェルト安否確認訓練	149/258	
波木町第三	6月8日	自治会 39名	・避難誘導訓練	—	
南小松町	6月8日	自治会133名 消防分団5名 合計138名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練 ・黄色いフェルト安否確認訓練	—	
采女町南部	6月9日	自治会30名 消防分団3名 合計33名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練	—	
波木町第二	6月22日	自治会11名 消防分団7名 合計18名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練	—	
北小松町	7月6日	自治会 28名	・防災研修会（能登半島地震の 体験談を基に座学の研修会）	—	
森力山	7月12日	自治会 19名 その他 1名 合計 20名	・初期消火訓練 ・避難誘導訓練	—	



令和7年度自主防災協議会役員及び各組織

(敬称略)

＜役員＞

会 長＝東川 日出夫  
副会長＝三谷 新市、栗本 孝則  
書 記＝堀川 宜典  
会 計＝堀 完治  
幹 事＝堀 育夫、川口 健、小川 雄輔  
減災アドバイザー＝近藤綾

＜各部部長・書記＞

- ・防災教育訓練部（18名）  
部長＝三谷 新市 書記＝堀 哲次
- ・防災設備部（22名）  
部長＝和田 博 書記＝横山 昌登
- ・防災広報部（19名）  
部長＝木立 美千代 書記＝前田 徹
- ・女性防災部（ドリームステップ）（8名）  
部長＝木立 美千代 副部長＝竹内 美保子

＜災害対策本部組織（班長・副班長）＞

- ・情報班  
班長＝太田 陽康 副班長＝堀 孝年
- ・連絡調整班  
班長＝東川 稔 副班長＝谷 勝弘
- ・救援物資  
班長＝藪下 秀樹 副班長＝水谷 正彦
- ・ボランティアセンター  
班長＝飼鳥 浩行 副班長＝矢田 千歳
- ・避難所担当、浄水班  
古市 直也、前川 典子、瀬戸山 力

＜指定避難所組織（リーダー・副リーダー）＞

- ・内部小学校  
リーダー＝田中 秀和  
副リーダー＝竹田 孝代・堀 列子
- ・内部東小学校  
リーダー＝村山 久子  
副リーダー＝林 眞由美・竹内 美保子
- ・内部中学校  
リーダー＝佐野 隆治  
副リーダー＝森井 典子・中川 栄美

※令和7年度は上記の役員で運営を致します。  
※内部地区の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

自主防うつべ

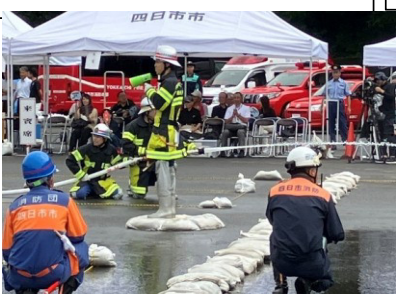


第40号

第59回四日市市消防団消防操法競技大会

実施日時：令和7年7月20日（日）午前8時30分～  
実施場所：四日市市総合防災拠点（神前地区寺方町）  
☆6月中旬から仕事が終わった後や早朝から、練習を重ねてきた内部分団。放水技術や動作の機敏さなどを競う1～2分間の競技内容はとても迫力のあるものでした。大会を終えて分団の絆がより一層深まったと思います。暑い中、本当にお疲れ様でした。

＝出場メンバー（自治会名）＝  
高橋 翔太さん（采女が丘）  
藤田 祐希さん（小古曽町）  
尾崎 航大さん（采女が丘）  
中川 勝悟さん（貝家町）  
古市 健 さん（采女町西部）  
以上5名の方です。



令和7年度自主防災協議会主な活動計画

協議会本部	・総会の実施 ・拡大役員会の実施 ・地域活動の推進 ・各自治会との連携強化
防災教育訓練部	・総合防災訓練の実施 ・訓練の反省会・アンケートをまとめること ・防災に関する住民意識向上のための教育活動 ・防災講演会・防災研修会・防災教育資料作成
防災広報部	・広報誌「自主防うつべ」の発行 ・防災展示会の開催（教育訓練部と合同） ・防災カレンダーの作成、全戸配布 ・地区文化祭での防災対応
防災設備部	・防災倉庫の点検実施（毎月） ・浄水器の取り扱い訓練の実施 ・応急給水栓の取り扱い訓練の実施

夏休み子ども防災教室開催されました！

- ・実施日時：令和7年8月4日（月）午前9時30分～11時30分
- ・実施場所：内部地区市民センター本館1階会議室
- ・参加者：内部地区の子どもたち 12名とその保護者
- ・内容 ①子どもの防災ずきんを作ろう ②新聞紙スリッパを作ろう



防災ずきんの中に入れる物を考える



ていねいに新聞紙で包む



新聞紙で中身は見えなくなる



大きなビニール袋にいれる



バスタオルでくるんで出来上がり！

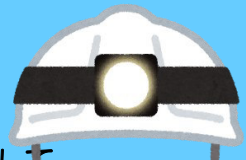


もし靴がなかったら新聞紙スリッパ

暑い夏休みでしたが、元気に12名の子どもたち、そして保護者の方々も来て頂きました。今年は、いざという時に慌てないよう「防災ずきん」を作ることになりました。はじめて針を持つ子もいましたが、子どもたちはとても意欲的で、自分で縫うことをしていました。この防災ずきんは、ずきんの中に歯ブラシやマスクを入れたり、避難用品を収納できる便利な防災ずきんです。今回、中身はこちらで用意しましたが、おうちで家族の分を作ってもらえると幸いです。また、避難所で靴がない時のために、新聞紙スリッパの作り方も伝えました。子どもたちが防災に関心をもってもらうことで、保護者にも防災意識が高まれば嬉しいです。今後も夏休み防災教室を続けていきたいです。 「ドリームステップより」

～采女町 三昌運輸倉庫株式会社様より

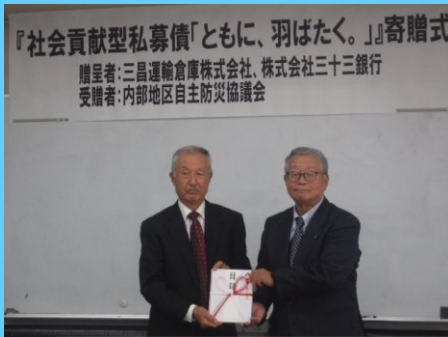
寄付をいただきました～



地域に防災用品を私募債活用し寄付を・・・

運送倉庫業「三昌運輸倉庫」は、社会貢献型私募債を活用して、内部地区自主防災協議会に、折りたたみヘルメット、LEDヘッドライト、乾電池を寄付していただきました。

「社会インフラの物流を担う地元企業として協力することは当然。会社を避難場所として提供するなど、災害時の連携も深めていきたい。」と、あいさつをいただきました。



三昌運輸株式会社社長と東川会長



寄贈の品と、関係者の方々の集合写真